学校番号	T3009

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新　高校の数学Ⅰ（数研出版）						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・2年生の数学Ⅰでは、1年生の内容を復習しながら、新たに図形と計量及びデータの分析について学びます。これらを通して、身の回りの事象を数学的に考察し、処理する力を身に付けていきましょう。
・授業は個々の習熟度にあわせて行いますので、自分自身が苦手とする内容を重点的に学習することができます。
・分からない箇所があれば積極的に質問し、苦手をひとつずつ克服していきましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現したり、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察したりすることができる。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。	・数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第１章　数と式	【1年次の復習】 ・乗法公式による展開 ・因数分解 ・1次方程式の解法 ・2次方程式の解法 ・不等式の意味と解法	a:文字式の基本的な演算の意味を理解するとともに、式を目的に応じて変形することができる。 b:学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。 c:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、文字を用いて数学的に表現しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
	第２章　２次関数	【1年次の復習】 ・1次関数とそのグラフ ・2次関数とそのグラフ ・2次関数の最大値・最小値 ・2次関数のグラフと2次不等式	a:関数の基本的な意味を理解するとともに、目的に応じてグラフを活用することができる。 b:学習した計算方法と関連付けて、関数を多面的に考察することができる。 c:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、関数を用いて数学的に表現しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
	第３章　図形と数量	第1節　三角比 第2節　三角形への応用	a:三角形の角度と辺の比の関係を理解するとともに、その関係を用いて未知の角や辺を求めることができる。 b:日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり考察したりすることができる。 c:三角比を用いることの有用性を認識し、三角比の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
		パフォーマンス課題① 「学校の周りの建物の高さを求めよう！」	b:三角比をどのように用いれば実際の建物にも適用できるかを考え、実際に建物の高さを求めることができる。 c:三角比に関心を持ち、身の回りでどのように用いることができるかを積極的に見つけようとしている。		発表 ワークシート	ワークシート

後期	第４章　集合と命題	集合と命題	a:数学における集合の意味を理解するとともに、命題において真偽判定に用いることで、正しく判定できる。 b:日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、命題として設定し、真偽を判定することができる。 c:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、集合や命題を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
後期	第４章　集合と命題	パフォーマンス課題② 「命題を設定し、真偽を判定してみよう！」	b:数学的に命題として設定できるのかを判断し、適切な題材を設定し、真偽を判定することができる。 c:命題に関心を持ち、身の回りの事象にどのように用いることで活用できるかを積極的に考察している。		発表 ワークシート	ワークシート
	第５章　データの分析	データの分析	a:データの分析における基本的な手法を理解し、最頻値や中央値などの中から適切なものを用いることができる。 b:日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり考察したりすることができる。 c:集めたデータを分析することの有用性を認識し、データの特徴を考察し、分析しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
		パフォーマンス課題③ 「身の回りの事象に関するデータを集め、分析してみよう！」	b:身の回りにある事象からどのようなデータを集められるかを検討し、実際にデータを収集し適切に分析している。 c:積極的に様々な事象を比較し、集めるデータを検討し、分析している。		発表 ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度